

「渡す」

弘兼秀子 選

特選

二百年先の子等へと植樹する

斎藤泰子（秋田）

秀逸

固辞してもバトンねじ込むインド型

松原雪子（千葉）

命から命へバトンする臓器

土田欣之（大阪）

引導を渡す決め球持っている

丹下凱夫（岡山）

原発の処理君達に任せたま

城野けんじ（千葉）

花の種風に渡してみませんか

森中恵美子（大阪）

「生きる」

田中新一 選

特選

抱いているいつか壊れるものなのに

守田啓子（青森）

秀逸

耳かきが心地よいああ生きている

川崎信彰（千葉）

生き方を教えてくれた癌告知

野尻茂信（福井）

フクシマの水を吸いつづける螢

野沢省悟（青森）

遺書書くと生きる意欲が湧いてくる

三宅保州（和歌山）

生き切って空に引っ掻き傷がある

正岡鏡花（愛媛）

「集う」

津田 暹 選

特選

哀しみの海を分け合う慰霊祭

荻原鹿声（栃木）

秀逸

議事堂に居眠りをする席がある

倉永みちよ（茨城）

ロボットの集会正論が通る

黒川孤遊（熊本）

久々の集いやさしい眉を引く

中武 弓（宮崎）

円陣を組むひとりひとりが咲くために

鎌田京子（宮城）

寒いのか傷つけ合うてまで集う

梅崎流青（福岡）

「楽器」

小島蘭幸 選

特選

挽歌弾く一本松のヴァイオリン

菊地正宏（岩手）

秀逸

ウクレレを持って少こうし呆けてみる

村田繁一（福井）

ラブソング無口な父のハーモニカ

仁多見千絵（宮城）

タンバリン 世論というは移り気な

江畑哲男（千葉）

ストラディバリウス抱き清貧をよしとする

馬場ナオミ（鹿児島）

オルガンにせんせいの髪揺れていた

宮尾柳泉（長野）